



张鑫友小语种系列

ZHANG XIN YOU XIAO YU ZHONG XI LIE

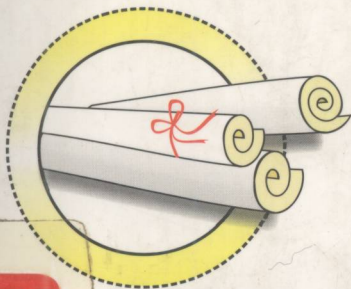
1997-2007

历年日语能力考试试题集粹

✓ 历年真题汇粹 呈现考试动态 ✓ 考场原声听力 还原考试氛围 ✓ 专家悉心研究 解析全面精辟



本书 ① 张光盘(MP3)容量
= ⑪ 盒60分钟磁带



策划/张鑫友

主编/王海 加藤太郎[日]

编写/日语能力考试命题研究组

九通电子音像出版社

张鑫友小语种系列

历年日语能力考试试题集粹

(一级)

策划/张鑫友

主编/王海 加藤太郎[日]

编写/日语能力考试命题研究组

九通电子音像出版社



前言

日本語能力测试(简称 JLPT),是由日本国际交流基金会及财团法人日本国际教育协会举办的日语综合能力测试。自 1984 年以来,在日本国内及相关国家和地区实施,以母语为非日语的人士为对象,每年 12 月的第一个星期日上午举行。

该考试分一、二、三、四共四个级别,各级认定基准如下:

四级:掌握初级语法,100 个左右汉字,800 个左右语汇,具有简单的会话及阅读、书写简短文章的日语能力(有效学习时间 150 小时左右,完成日语初级课程前半部分)。

三级:掌握基本语法,学习了 300 个左右汉字,1500 个左右语汇,具有对日常生活中可使用的会话,及阅读简单文章的日语能力(有效学习时间 300 小时,完成日语初级课程)。

二级:掌握相当程度高级语法,学习了 1000 个左右汉字,6000 个左右语汇,具有对一般事物进行会话、阅读和书写的日语能力(有效学习时间达 600 小时,完成日语中级课程)。

一级:掌握高级语法,学习了 2000 个左右汉字,10000 个左右语汇,具有在日本生活及进行大学学习、研究基础的综合日语能力(有效学习时间达 900 小时)。

每个级别的考试分为文字和词汇、听力、阅读和语法三部分,题型均为客观选择题,满分 400 分,一级考试正确率达 70% 以上为合格;二级、三级、四级考试正确率达 60% 以上为合格。成绩单于次年 3 月初由国际交流基金会通过教育部考试中心及下设考点发放,成绩合格者除成绩单外,还将获得由日本国际交流基金会颁发的合格证书,各级合格证书均长期有效。

随着国际交流日益加深,赴日留学,进入日资企业工作等多方面原因,国内学习日语的人数逐年增长,作为世界范围内通用的一种日本语能力认定考核标准,日本语能力测试的影响也越来越大,因此,能获得一套准确、翔实,并附有正确答案及详细解说的试题集也成为了广大日语学习者的期待。

编者正是考虑到这一点,同时也是为了方便广大自学日语的读者能进行更有效地学习,特邀请日语研究专家对日本语能力测试 1997 - 2007 年,即最近 11 年的一至四级真题试卷(共计 44 套试题)及正确答案进行了全面的解释和综合的分析,汇编为《历年日语能力考试试题集萃》。同时,为获得更好的学习效果,本书还附有各套试题听力原文,及听力内容的录音 CD。

希望借此套试题集的出版,帮助广大读者朋友达到举一反三,全面培养日语能力的目的。

编者

目录

1997 年日语能力考试一级试题	1
1998 年日语能力考试一级试题	12
1999 年日语能力考试一级试题	24
2000 年日语能力考试一级试题	37
2001 年日语能力考试一级试题	49
2002 年日语能力考试一级试题	62
2003 年日语能力考试一级试题	74
2004 年日语能力考试一级试题	88
2005 年日语能力考试一级试题	101
2006 年日语能力考试一级试题	115
2007 年日语能力考试一级试题	128
1997 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	140
1998 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	147
1999 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	154
2000 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	161
2001 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	168
2002 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	175
2003 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	182
2004 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	189
2005 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	196
2006 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	204
2007 年日语能力考试一级参考答案与试题解析	211
1997 年日语能力考试一级试题听力原稿	224

目录

1998 年日语能力考试一级试题听力原稿	230
1999 年日语能力考试一级试题听力原稿	236
2000 年日语能力考试一级试题听力原稿	241
2001 年日语能力考试一级试题听力原稿	247
2002 年日语能力考试一级试题听力原稿	253
2003 年日语能力考试一级试题听力原稿	259
2004 年日语能力考试一级试题听力原稿	265
2005 年日语能力考试一级试题听力原稿	271
2006 年日语能力考试一级试题听力原稿	276
2007 年日语能力考试一级试题听力原稿	283

1997 年日语能力考试一级试题

文字・語彙

(100 点 45 分)

問題Ⅰ 次の文の _____ をつけたことばは、どのよう
に読みますか。その読み方をそれぞれの
1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問1 地震の①被害者に対する、彼らの②速やかな③
救援活動は、賞賛に④値する。

(1)被害者

1. かがいしや
3. はがいしや

2. きがいしや
④ ひがいしや

(2)速やかな

- ① なごやかな
3. ゆるやかな

- ② すみやかな
④ はなやかな

(3)救援

- ① きゅうえん
3. きゅうだん

2. きゅうかん
4. きゅうめん

(4)値する

- ① ねする
③ あたいする

2. ちする
4. くらいする

問2 夫婦は①互いに②束縛したり③干渉したりし
ない方がいいという考え方に④共鳴する人が
多くなった。

(1)互いに

- ① たがいに
3. ちがいに

2. ただいに
4. ちだいに

(2)束縛

1. そくせん
③ そくばく

2. そくてん
4. そくぼく

(3)干渉

- ① かんしょう
3. せんしょう

2. かんほ
4. せんほ

(4)共鳴

1. こうちょう
3. きょうちょう

- ② こうめい
④ きょうめい

問3 彼は①前途②有望な青年で、③視野を広げるた
めに外国に留学し、現地で④充実した毎日を送
っている。

(1)前途

1. せんと
③ ぜんと

2. せんど
4. ぜんど

(2)有望な

- ① ゆうぼうな
3. ゆうもうな

2. ようぼうな
4. ようもうな

(3)視野

1. きや

- ② しや

3. けんや

4. こうや

(4)充実

1. せいじつ
3. ちやくじつ

- ② じゅうじつ
④ ちゅうじつ

問4 福祉予算の規模が①縮小されたため、老人の②
介護をする人の③負担が増えてしまった。

(1)縮小

1. しゅしょう
3. しゅっしょう

- ② しゅうしょう
④ しゅくしょう

② 介護

1. かいかく
③ かいご

2. かんかく
4. かんご

(3)負担

- ① ふたん
3. ふうたん

- ② ふだん
4. ふうだん

問題Ⅱ 次の文の _____ をつけたことばは、ひらが
なでどう書きますか。同じひらがなで書く
ことばを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)留学生の受け入れ態勢を整える。

1. 大衆
3. 滞在

- ② 体制
4. 対戦

(2)会議が長引いて、思考力が低下した。

1. 脂肪
3. 事項

2. 自己
④ 志向

(3)税務署に所得を申告する。

1. 神経
③ 深刻

- ② 真空
4. 新興

(4)官僚の任命権は大臣にある。

1. 元来
③ 慣例

2. 完了
4. 勧誘

(5)聴講するためには正規の手続きが必要です。

- ① 世紀
3. 証拠

2. 将棋
4. 整理

問題Ⅲ 次の文の _____ をつけたことばは、どのよ
うな漢字を書きますか。その漢字をそれぞ
れの1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問1 ①かいしゅうしたアンケートの②ぶんせき
には、コンピューターが③いりよくを④はつきす
る。

(1)かいしゅう

1. 回周

2. 回集

3. 回拾 (2) ぶんせき
1. 分析 ④ 回収
3. 分析 ② 分析
(3) いりよく 2. 偉力
1. 依力 ④ 威力
3. 為力
(4) はつき 2. 発気
1. 発起 ④ 発揮
3. 発企

問2 製品の①かかくを②いじするために③けいやくを④むすんだ。

- (1) かかく ② 価格
1. 価角 3. 稼角
(2) いじ 4. 稼格
1. 緯持 2. 緯治
③ 維持 4. 維治
(3) けいやく 2. 係約
1. 計約 4. 繼約
③ 契約
(4) むすんだ 2. 締んだ
① 結んだ 4. 紡んだ
3. 絞んだ

問3 父は、①ひしに努力して借金を②へんさいし、店の経営を③きどうに乗せた。

- (1) ひしに 2. 必仕に
1. 必支に ③ 必死に
③ 必死に 4. 必使に
(2) へんさい 2. 返済
1. 返済 ② 返済
3. 返財 4. 返碎
(3) きどう 2. 基動
1. 基道 ③ 軌道
③ 軌道 4. 軌動

問4 人に①ごかいされるような②ふれいな③げんどうは、④つつしんだ方がいい。

- (1) ごかい 2. 誤戒
1. 誤悔 ④ 誤解
3. 誤怪
(2) ふれいな 2. 無札な
① 無礼な 4. 不札な
3. 不礼な
(3) げんどう ② 言動
1. 原動 4. 見動
3. 現動
(4) つつしんだ 2. 悟んだ
1. 悩んだ ③ 憤んだ
③ 憤んだ

問題Ⅳ 次の文の _____ をつけたことばの二重線()の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、1・2・3・4から一つ選びなさい

- (1) (こう)ほしやがたくさん出た。
1. この本はさん(こう)になる。
2. 大学で文学をせん(こう)する。
3. この地方はき(こう)が温暖だ。
4. 世界の平和に(こう)けんする。
(2) 作品をひ(ひょう)する。
1. 駐車禁止の(ひょう)しきが立っている。
2. 委員長をとう(ひょう)で選んだ。
3. この本の(ひょう)しはデザインがいい。
4. あの店は(ひょう)ばんがいい。
(3) 顕微鏡で植物の(さい)ぼうを観察する。
1. この指輪にはきれいな(さい)くがしてある。
2. 貿易会社に(さい)ようされた。
3. 録音した音楽を(さい)せいで聞く。
4. 代金の支払いを(さい)ぞうされた。
(4) この小説の(とう)じょう人物はたったの3人だ。
1. 探検隊は目的地に(とう)たつした。
2. 会員になるには(とう)ろくが必要だ。
3. 犯人が(とう)そうする。
4. 試験の(とう)じつ急に病気になった。
(5) 彼はこの事件にはかん(よ)していない。
1. ボーナスを銀行に(よ)きんする。
2. (よ)ぶんのお金を持ち合わせていない。
3. (よ)きんしてなかったことが起こった。
4. 今度の選挙では(よ)とうが勝利をおさめた。

問題Ⅴ 次の文の _____ の部分に入れるのに最も適当なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- (1) 平行な二つの直線は決して _____。
1. まじえない 2. まじらない
3. まざらない ④ まじわらない
(2) 建物に入るのに、いちいち証明書を見せなければならぬので、本当に _____。
1. わずらわしい 2. まちどおいしい
3. みすばらしい 4. はなはだしい
(3) 不況の影響で、この地域の中小企業は _____ 倒産した。
1. いまさら 2. ひたすら
3. のきなみ 4. ひいては
(4) いうもは厳しい先生だが、おもしろい _____ もあることがわかった。
1. 一見 2. 一目
3. 一部 4. 一面
(5) わたしには小さくなったスーツを息子に着せてみたが、 _____ だった。

1. だぶだぶ ^{ふか} 2. ふらふら ^{ふらふら} 3. のろのろ 4. ぺこぺこ
- (6) 道で子供たちが遊んでいたので、車のスピードを
通り過ぎた。
1. へらして ^{へらして} 2. ゆるめて ^{ゆるめて} 3. よわめて ^{よわめて} 4. なくして ^{なくして}
- (7) 話し合いは 終わった。
1. 健全に ^{健康} 2. 寛容に ^{寛容} 3. 精巧に ^{精巧} 4. 円満に ^{円満}
- (8) 林さんは、いつも 洋服を着ているので、み
んなのあこがれの的だ。
1. エlegantな ^{エlegantな} 2. コントロールな ^{コントロールな} 3. ナンセンスな ^{ナンセンスな} 4. プラスチックな ^{プラスチックな}
- (9) 計画が うまく行くように、みんなで作戦を
たてた。
1. こめた ^{こめた} 2. ねった ^{ねった} 3. ほどこした ^{ほどこした} 4. あつらえた ^{あつらえた}
- (10) 小松さんの道力に うたがされて、思わず同意し
てしまった。
1. 抑圧 ^{抑圧} 2. 重圧 ^{重圧} 3. 圧倒 ^{圧倒} 4. 圧縮 ^{圧縮}
- (11) 数の貝がらが、遺跡から発掘された。
1. はなばなし ^{はなばなし} 2. おびただしい ^{おびただしい} 3. やかましい ^{やかましい} 4. なやましい ^{なやましい}
- (12) 電車の中で突然気分が悪くなったが、親切な人
が 助けてくれた。
1. 救済 ^{救済} 2. 養護 ^{養護} 3. 介抱 ^{介抱} 4. 奨励 ^{奨励}
- (13) 事故で電車が止まって遅刻しそうになったが、
バスに乗り換えたので、間に合った。
1. おのずから ^{おのずから} 2. かりうじて ^{かりうじて} 3. やむをえず ^{やむをえず} 4. ことによると ^{ことによると}
- (14) 田中先生は神経が よく、生徒たち一人一人を
よく理解してくれる。
1. きよらかで ^{きよらかで} 2. しなやかで ^{しなやかで} 3. こまやかで ^{こまやかで} 4. さわやかで ^{さわやかで}
- (15) 道の 両側に名もないきれいな花が咲いてい
た。
1. かたわら ^{かたわら} 2. ふもと ^{ふもと} 3. なぎさ ^{なぎさ} 4. すそ ^{すそ}

問題 VI 次の(1)から(10)までの ことばの
意味が、それぞれのはじめの文と最も近い
意味で使われている文を、1・2・3・4から
一つ選びなさい。

- (1) とおす……その作家は、生涯独身をとおした。
1. 障子をとおして、やわらかい光が入ってくる。
2. 夫人が私たちを奥の部屋にとおしてくれた。
3. がんばって書いたのに、先生は卒業論文をとおし
てくれなかった。

(8)みる……子が親の面倒をみるのは、当然だと思
う。

1. 何度か話し合いを行っただ、残念ながら意見の
一致をみなかった。

2. 近所の大学生が子供の勉強をみてくれるので、
助かる。

3. 出かける前に、車の調子をみてみよう。

4. みると聞くとは大違いとは、このことだ。

(9)やける……本棚の本の背が、日にやけて白づく
なった。

1. 空が真っ赤にやけている。

2. あの二人を見ていると、思わずやけてくる。

3. 海でやけた肩と背中が少し痛い。

4. パンがおいしそうな色にやけた。

(10)おちる……あそこのレストランは、最近味がお
ちた。

1. 兄は就職試験におちて、元気がない。

2. 洋服についた口紅は、なかなかおちない。

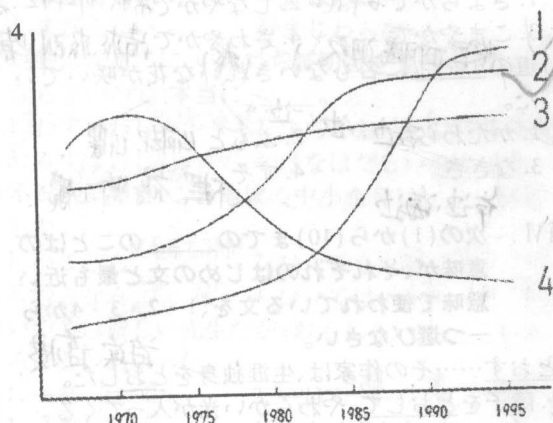
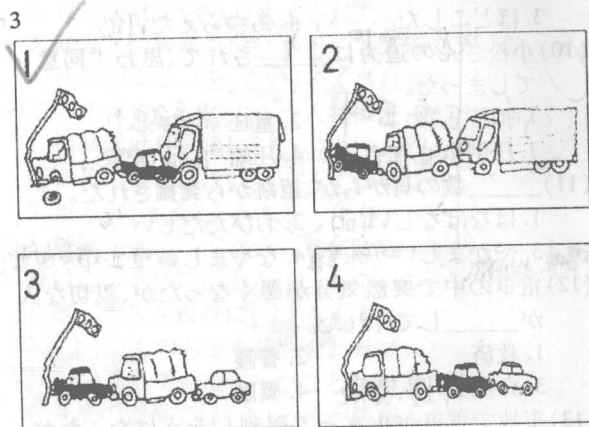
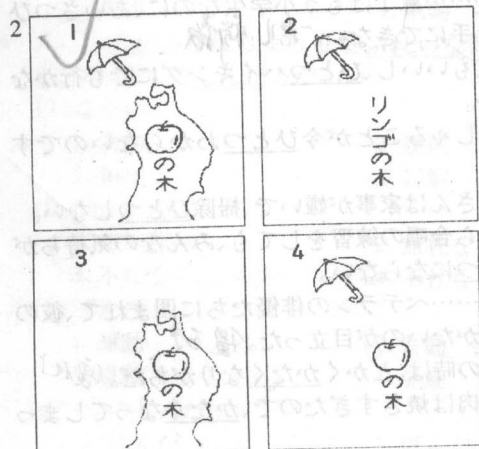
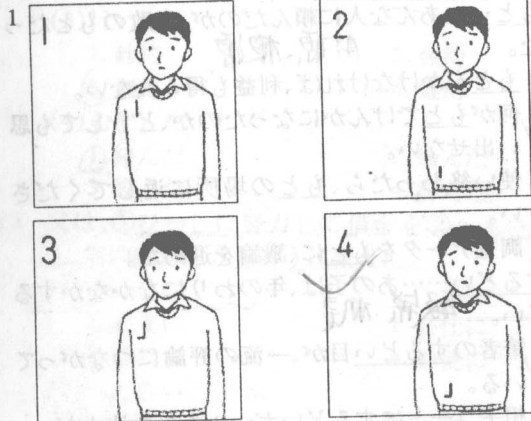
3. 田中君の名前が名簿からおちている。

4. 疲れてきたのか、中山選手のスピードがおち
てきた。

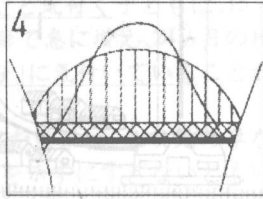
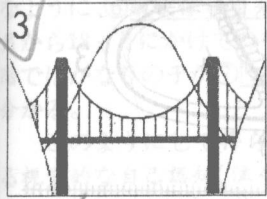
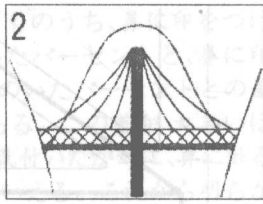
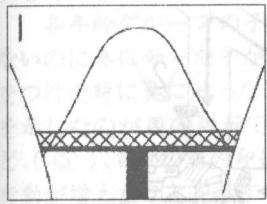
聴解

(100点45分)

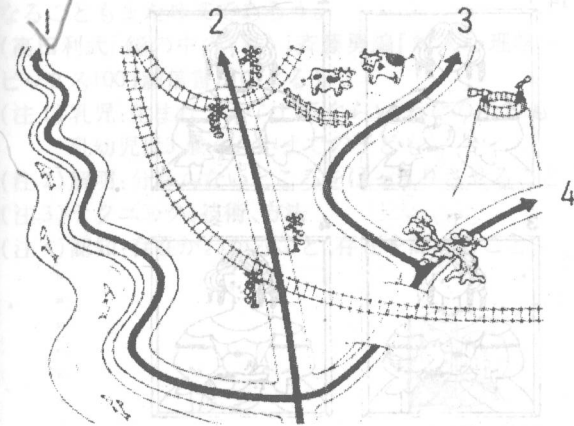
問題 I



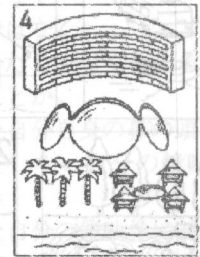
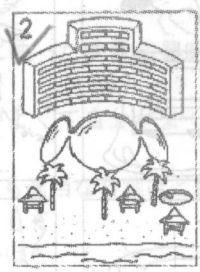
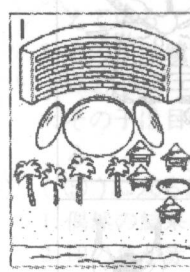
5



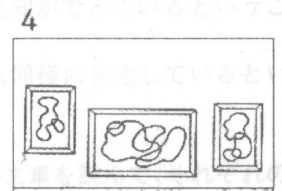
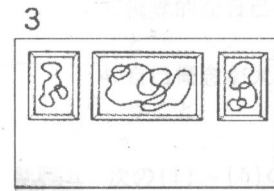
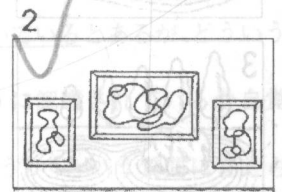
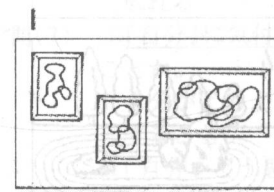
6



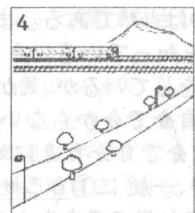
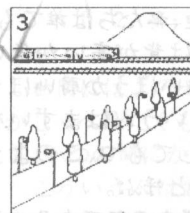
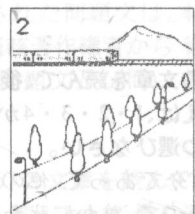
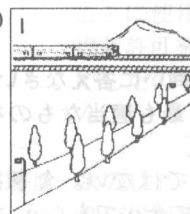
8



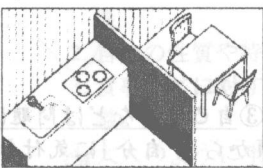
9



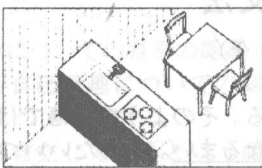
10



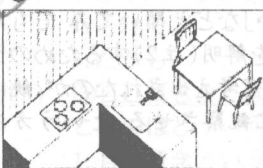
7



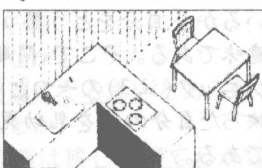
2

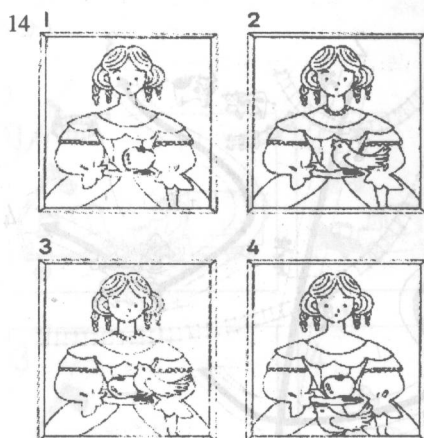
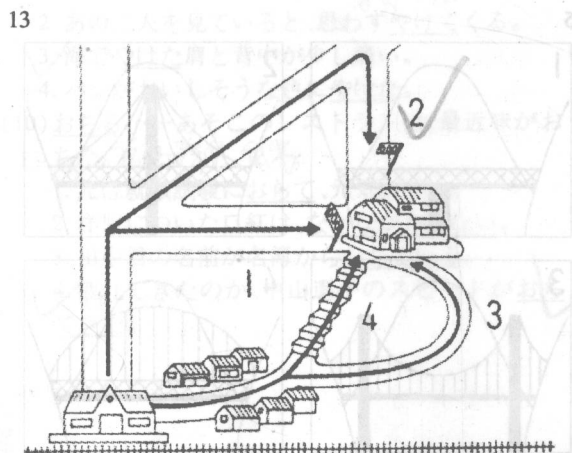
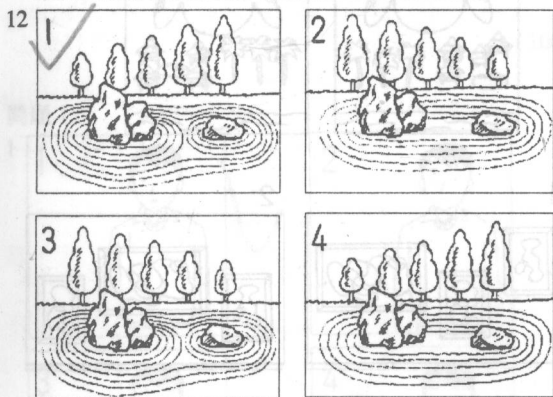
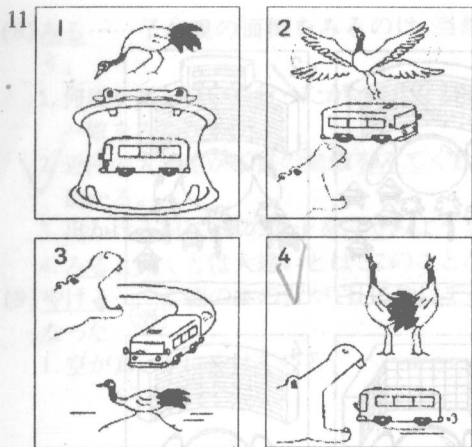


3



4





問題Ⅱ 絵などはありません

読解・文法

(200点90分)

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。
答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

自分は自分であって、他の人ではない。食事をする暇がないので、誰かに代わって食べてもらう、などできないのは当然である。また、私たちは誰でも、その「自分」を知っている。自分は背が高いか低いか、どんな顔をしているか、気が強いほうか弱いほうか、これらが自分で分からないという人はまずいないだろう。自分で自分自身に対してもつ、このような認識内容を、一般に①自己概念と呼ぶ。

(②)、これは正常な大人の場合の話である。発達初期の乳児(注1)は、自分の体と自分の周囲のものとの区別がつかない、自分とお母さんとは別の人間だということにも気付いていない、といわれている。

る。そのような状態では、③自己概念などは問題になるまい。いったいつ頃から、「自分」に気が付き、「自分」という概念が生まれてくるのだろうか。

生まれて間もない乳児に、「自分の存在を感じているか」「自分をどう思うか」などと聞いてみても無意味である。そこで、問題を解明(注2)するためのテクニック(注3)の一つとして考え出されたのが、鏡に映った自分の姿を乳児に観察させる、という方法である。

(中略)鼻の頭に口紅で赤い印をつけて、子どもを鏡に向かわせたとする。その時、鏡映像を見て自分自身の鼻に触ったとしたら、(④)、といえるであろう。

そのような方法を用いた研究の一つ、ルイスとブルックスーガンの実験で、彼らは、生後9ヵ月から24ヵ月までの、六つの年齢グループの子どもたちを比

較している。

各年齢グループの子どものうち、鼻に印をつけないのに鼻に触った子がいたパーセントと、鼻に印をつけた時に鼻に触った子のいたパーセントとの差を示したのが図の縦軸である。この差が大きいほど、(⑤)、自分の鼻の印に気付いたが故に、鼻に触る行動が増えたことを示すといえる。これから明らかのように、⑥鏡映像を自分だと気付く子どもは、15ヵ月から18ヵ月にかけての年齢で急に増え、24ヵ月の段階ではかなりの子が⑦「自分」に気付いていることが分かる。

このようにして得られた結果は、乳幼児の単なる視覚的な自己認知(注4)を示すにすぎないともいえようが、これがその後の自己概念の発達的基础となることもまた確実であろう。

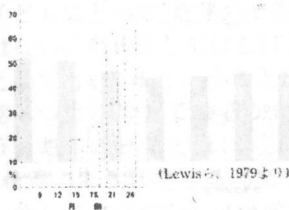
(高田利武「鏡の中の(私)」齊藤勇編「対人心理学トピックス100」誠信書房による)

(注1)乳児:生まれてから1年ぐらいまでの子ども、乳幼児は3歳ぐらいまでの子ども

(注2)解明:分からないところをはっきりさせること

(注3)テクニック:技術、方法

(注4)認知:存在がわかること、存在を認めること



(Lewis, 1979より)

問(1) ①自己概念の最も適当な説明はどれか。

1. 人は誰でも「自分」を知っているという認識
2. ②自分の性質や特徴についての自身の認識
3. 食事などに対する自己管理についての認識
4. ④大人のように十分自立しているという認識

問(2) (②)に入る最も適当な言葉はどれか。

1. それで
2. 一方
3. だから
4. しかし

問(3) ③自己概念などは問題になるまいとあるが、ここではどういうことか。

1. 自己概念という言葉は難しすぎてわからない。
2. 自己概念などは言葉の意味が簡単すぎる。
3. ③自己概念を考えるのは乳児では早すぎる。
4. 自己概念などは誰にもあり、問題はない。

問(4) (④)に入る最も適当な文はどれか。

1. ④その子は鏡に映っているのが自分だと分かっている

2. ②その子は自分の鏡映像を他の子どもと考
えている

3. その子は鏡に映った映像に興味を持って
いる

4. その子は目がよくて自分がよく見えてい
る

問(5) (⑤)に入る最も適当な言葉はどれか。

1. 偶然の結果として
2. 印の色が赤いほど
3. ③自分の口ではなく
4. ④単なる偶然ではなく

問(6) ⑥鏡映像を自分だと気付くとあるが、具体的
にはどうすることか。

1. ①口紅のついた自分自身の鼻の頭に触れる
2. ②口紅のついていない自分の鏡映像に触れ
る
3. ③口紅のついた自分の鏡映像に触れる
4. ④口紅のついていない自分自身の鼻の頭に
触れる

問(7) ⑦「自分」に気付いているとあるが、どうい
うことか。

1. ①自分がどのように認識されているか自覚
すること
2. 「自分をどう思うか」という質問に答えら
れること
3. ③視覚的な自己認知ができていているとい
うこと
4. ④自己概念が大人同様に発達しているとい
うこと

問題Ⅱ 次の(1)～(6)の文章を読んで、それぞれの
問いに対する答えとして最も適当なものを
1・2・3・4から一つ選びなさい。

ここに使用された問題文は、本問題集への
掲載許可を当該著作権者から 得られませ
んでしたので、問題文及び問いを掲載しませ
ん。

問題Ⅲ 次の(1)～(6)の文章を読んで、それぞれの
問いに対する答えとして最も適当なものを
1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

世間には、「のせ上手」の人がいる。たとえば、相
手がしゃべりたくもないことをうまく リード(注1)
して、いつの間にかその気にさせてしまう人である。

こういう人は案外、「聞き上手」な人に多い。大
汗をかいて馬を引っ張って水飲み場に連れていくの
ではなく、なんとなくお尻を叩きながら、いつしか自
分の意志で馬を水飲み場へ行かせてしまう人なの
だ。

友人にあとで悪く思われることもない。なぜなら、のせられる人も、隠したいことほどしゃべりたい話だからである。

(神津カンナ『その人のどこが人を魅きつけるのか』三笠書房による)

(注1)リードする:導く

問(1)自分に当たるのはどのような人か。

1. 相手をその気にさせる人
2. 馬を水飲み場へ行かせる人
3. のせられる人
4. 聞き上手な人

(2)

「人はその血管と同じに年を取る」という名言があります。もちろん、人間だけでなく、いろいろな動物にもあてはまります。この言葉は、血管というものが、老化を考えるさい、いかに大事であるかを物語っています。体の各器官がどんなに若々しくとも、血管に障害があったら、その器官に栄養物も酸素も届けられず、また、老廃物(注1)はたまる一方になってしまいます。鉄道や運送会社、それに清掃業者がストライキをおこしたとしたならば、都市は瀕死(注2)状態になることでしょう。血管の役割はそれほど重大なのです。

(香原志勢『老いを考える』ほるぷ出版による)

(注1)老廃物:動物の体内で古くなり、いらなくなったもの

(注2)瀕死:今にも死にそうなこと

問(1)文の中の「人」と「血管」の関係に当たるものはどれか。

1. 動物と各器官
2. 栄養物と老廃物
3. 鉄道と清掃業者
4. 都市と運送会社

(3)

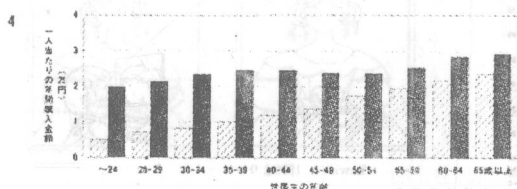
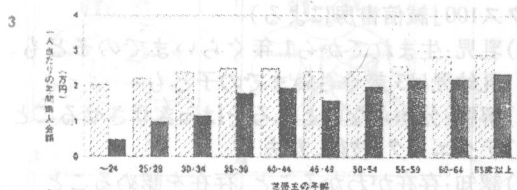
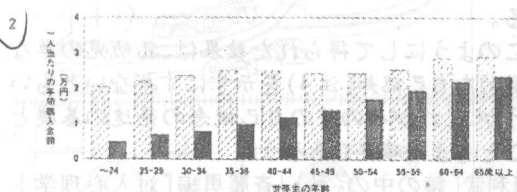
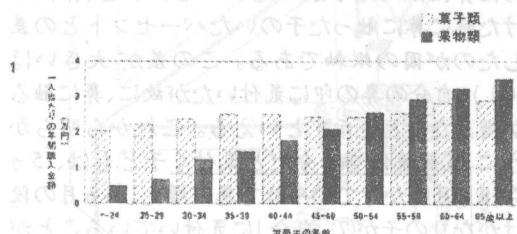
最近、果物の消費が伸びていません。そこで、果物の年間購入金額を調べてみました。一人当たりの購入が最も多いのは世帯主が65歳以上の家庭で、最も少ないのは世帯主が24歳以下の家庭でした。金額にすると、前者は23,494円、後者は5,036円と、約4.7倍も差が開いています。

果物の「敵」は、お菓子だとよく言われています。やはり、菓子類でも購入金額が最も多いのは世帯主が65歳以上で29,117円、少ないのは24歳以下で20,199円となっています。ところが、果物と菓子類とでは、やや違った傾向が見られます。いずれの年齢の世帯主の家庭でも、果物より菓子類の購入金額の方が多いのですが、年齢が上になるほど、この差は小さくなっていきます。これは、果物の購入を伸ばすためには、若い家庭に対する宣伝がもっと必要だということでしょう。

問(1)次のグラフの中から説明に合っているもの

を選びなさい。

1. 菓子類
2. 果物類
3. イギリス人
4. 虹



(4)

次男(注1)が一年生のときである。ある夕方、それまで降っていた雨があがると、東の空に大きな虹がかかった。次男は、「ママ、[①]」と言い、当時二歳になる弟と外に出た。私はさして(注2)気にもとめないでいたが、暗くなっても帰らない。不安になり、自転車で近所一帯を探したが、姿が見えない。いよいよ警察に届けようと決意したとき、二人は戻ってきた。私が叱ると、彼は以前、イギリス人から虹(注3)のたもとは宝物が埋められているという古い伝説を聞いた、と話した。「あの家の上に虹が乗ってる、と思ってその家まで行ったら、②また虹が逃げちゃったんだよ」と言う。小さい弟の手をつないで、東へ東へと夢中で走り、とうとう隣の町まで行ってしまったという。(藤原美子『子育てより面白いものが他にあるだろうか』海竜社による)

(注1)次男:二番目の息子

(注2)さして:それほど

(注3)虹のたもと:虹のたもと

虹のたもと



問(1) [①]に入る最も適当なものはどれか。

1. ちょっと虹を見てくるね
2. お兄さんと呼んでくるね
3. 隣の町まで行ってくるね
4. 自転車に乗ってくるね

問(2) ②また虹が逃げちゃったんだよという言い方が表す気持ちとして最も適当なものはどれか。

1. 前にも同じように虹を追いかけたことがあったが、今回も失敗して悔しい。
2. 虹のたもとに宝物が埋められているという伝説が本当ではないとわかって残念だ。
3. 悪いことをしたわけではなく、虹を追いかけていただけで叱られたのが不満だ。
4. 何度も虹のたもとまで行けそうになったのに、結局行けなかったのが残念だ。

(5)

子どもにとって、想像の世界とは、単なる逃避の場ではない。動機としてはしばしばそういうものがあるとしても、逃避ということばは敗北という情緒的な意味づけを含んでいるがゆえに、間違っていると思う。想像の世界とは、むしろ、子どもが、精神の自由、精神の主体性を守る場所でこそあるのではないか。決して自分のために運営されているのではない現実から相対的に独立して、観念の力をみずから養う場所なのではないだろうか。

(佐藤忠男「大衆文化の原像」岩波書店同年代ライブラリーによる)

問(1) 子どもにとって想像の世界とは、どのようなところか。

1. 自分の意志で自由に考えることができるところ
2. きびしい現実を完全に忘れることができるところ
3. 大人の世界から離れて楽な気持ちになれるところ
4. 現実から逃げて自分の好きなことができるところ

(6)

下のA～Dは、それぞれア、イ、ウ、エのどこかに入る文です。新しくスペイン語を始めるとしよう。一か月したら基礎的な単語や日常の挨拶などについて

テストがあるということが分かっていると。

ア

そして

イ

こういうふうに

ウ

このように

エ

A テストの前にはもう一度おさらいして、何とかマスターするように頑張る(注1)はずである。

B 一年間、例えば毎月毎月のテストをひとつの励みにし、目当てにして学習(注2)を積み重ねていけば、実際に使い物になる程度の語能力を身(注3)につけることができるはずである。

C やはりそれを目指して勉強するのではないだろうか。

D 評価ということには、学習に対する外的な刺激、その意味でのペースメーカー(注4)カーとしての働きがあるのである。

(梶田毅一「教育評価」放送大学教育振興会による)

(注1)おさらい:復習すること

(注2)目当て:目標

(注3)使い物になる:使って役に立つ

(注4)ペースメーカー:ものごとの進み方をうまく調整する人

問(1) 正しい組み合わせのものを選べなさい。

1. ア:A イ:B ウ:C エ:D
2. ア:B イ:A ウ:D エ:C
3. ア:C イ:A ウ:B エ:D
4. ア:D イ:B ウ:A エ:C

問題IV 次の文の にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選べなさい。

(1)試験の日に朝寝坊をした弟のあわてようと なかった。

1. いっても
2. いうけど
3. いうのに
4. いったら

(2)彼女は3度の足のけがを オリンピックの代表選手になった。

1. ものともせず
2. ものにせず
3. ものにして
4. ものではなく

(3)田中さんは周囲の心配 ヨットで長い航海に出た。

1. はもとより
2. をよそに
3. によらず
4. はおろか

(4)このたび代表としてご国際会議に いただくことになりました。

1. いかれて
2. いかせて
3. いかされて
4. いかせられて

- (5) わたしの_____未熟者にこんな重要な役力が果たせるでしょうか。
1. ☒ ごとき 2. ごとの
3. ごとく 4. ごとし
- (6) 休養に徹すると言い_____頭から仕事のことが離れない。
1. ☒ ながらに ☒ 同く 2. かたがた
3. ☒ ながらも 4. ついでこ
- (7) 鈴木アナウンサーはきょうのサッカーの試合の中継放送を_____引退した。
1. ☒ かぎりに ☒ いかげん 2. かぎつて
3. ☒ しまって 4. ばかりに
- (8) 姉と_____最近おしゃれのことがばかり気にしている。
1. ☒ すれば 2. ☒ したら
3. ☒ あれば 4. ☒ きたら
- (9) 選手_____もの、試合においては堂々と戦え。
1. ☒ する 2. ☒ おる
3. ☒ たる 4. ☒ ある
- (10) どんな小さな成功も努力_____ことだ。
1. ☒ あっては 2. ☒ あってで
3. ☒ あっても 4. ☒ あつての ☒ 有る ☒ 有る
- (11) 父親が帰ると、待っていたと_____娘はおみやげをねだった。
1. ☒ ばかりに 2. ☒ ばかりか
3. ☒ ばかりも 4. ☒ ばかりで
- (12) 掃除が終わうたらおやつがもらえる_____子供は一生懸命手伝っている。
1. ☒ とあつて ☒ あり 2. ☒ として
3. ☒ とあつても 4. ☒ とすると
- (13) 昔は親に反抗_____、すぐにたたかれたものだ。
1. ☒ しそうものなら 2. ☒ しようものなら
3. ☒ しないものなら 4. ☒ しようものの
- (14) 息子はこづかいをやったそば_____使ってしまう。
1. ☒ にも 2. ☒ まで
3. ☒ から 4. ☒ でも
- (15) どれ_____になって働いても、もらえる金はわずかだ。
1. ☒ まみれ 2. ☒ ぎみ
3. ☒ くさく 4. ☒ ながら
- (16) あの子はいったん遊びに出たが_____、暗くなるまでもどって来ない。
1. ☒ 終わり 2. ☒ 始末
3. ☒ しまい 4. ☒ 最後
- (17) 地震のことなど想像する_____恐ろしい。
1. ☒ だの 2. ☒ でも
3. ☒ だに 4. ☒ では
- (18) 見舞いに来ない_____電話ぐらいはするものだ。

1. からに 2. までに
3. からも 4. までも
- (19) 結婚をひかえ、家具はもちろん、皿やスプーンに_____新しいのを買そろえた。
1. ☒ いたりで 2. ☒ いたっては
3. ☒ いたつても 4. ☒ いたるまで ☒ まで
- (20) コンピュータに入れておいても、うっかり消してしまえば_____。
1. ☒ そのものだ 2. ☒ それまでだ
3. ☒ そのままだ 4. ☒ それだけだ
- (21) 課長である以上、そんな大事なことを知らなかった_____だろう。
1. ☒ でもすまされない 2. ☒ でもとまらない
3. ☒ ではすまされない 4. ☒ ではとまらない
- (22) 友達の励まし_____作品の完成はなかったであろう。
1. ☒ なくとも 2. ☒ なくしては
3. ☒ ないまでも 4. ☒ ないでは

問題 V 次の文の_____にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

- (1) 知らないくせに知っているようなふりをする_____。
1. ☒ ことじゃない 2. ☒ ようじゃない
3. ☒ までじゃない 4. ☒ ものじゃない
- (2) そんな簡単なこと、わざわざあなたに説明してもらう_____。
1. ☒ までもない 2. ☒ ものではない
3. ☒ わけでもない 4. ☒ ところではない
- (3) 事故で家族を失った人の話を聞いて、涙を_____。
1. ☒ 禁じなかった 2. ☒ 禁じ得なかった
3. ☒ 禁じざるを得なかった 4. ☒ 禁ぜずにはおれなかった
- (4) 台風によって交通機関が止まってしまい、旅行の中止を_____。
1. ☒ 余儀なくした 2. ☒ 余儀なくさせた
3. ☒ 余儀なくされた 4. ☒ 余儀なくなった
- (5) みんなから信頼されている彼をおいてほかに適当な人が_____。
1. ☒ いるだろう 2. ☒ いるだろうか
3. ☒ いないだろうか 4. ☒ いはしないだろうか
- (6) うるさいと感じるかもしれないが、親があれこれ言うのはあなたのことを心配して_____。
1. ☒ いたらこそだ 2. ☒ いればこそだ
3. ☒ いるなちこそだ 4. ☒ いたならこそだ

- (7) 問題がこじれてしまう前に対策をたてるべきだったのに、ことここにいたっては_____。
1. どうかしなくては
 2. どうにかしている
 3. どうしようもない
 4. どうしたというのか

問題Ⅶ 次の文の_____にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

- (1) この奨学金は留学生のためのものです。出身国の_____によらず応募することができます。
1. どこ
 2. なに
 3. いかな
 4. どちら
- (2) 人には精神の豊かさこそが第一に必要なものである。どんなに物質的に豊かになった_____、幸せだとは限らない。
1. だけあって
 2. のみならず
 3. にかかわらず
 4. からといって
- (3) 同じ兄弟でありながら、彼らほど性格が違うのも珍しい。いつも冷静でしっかり者の兄_____、弟

の方はなんと落ち着きのないことか。

1. とかわって
 2. にひきかえ
 3. にもまして
 4. といえども
- (4) 父も母も、これまではただ仕事ひとすじで、人生を楽しむゆとりなどなかった。海外旅行は_____国内さえもほとんど見て回ったことがない。
1. おろか
 2. わずか
 3. 限らず
 4. 間わず
- (5) 世界経済の自由化の波は、日本の農業にも深刻な影響を与えた。米は一粒_____輸入させないと言っていた人々も、もうそんなことは言っていられなくなった。
1. ばかりも
 2. だけさえ
 3. たりとも
 4. とはいえ
- (6) ラジオから流れてくる日本の民謡を_____聞いていると、何だか懐かしい気分になった。どうしてだろうと思ってよく聞いてみると、私のふるさとの音楽とリズムが一緒だった。
1. 聞かないまでも
 2. 聞くともなしに
 3. 聞くこともせずに
 4. 聞かないながらも